

まつさか市議会だより

vol.83  
2020.12.1

「みてんか」は電子ブックやPDFでもご覧いただけます。



# みてんか

マジメで面白くない報告ですが...

決算調査特別委員会 各分科会での審査内容	4
きてんか！議場見学	13
一般質問	14





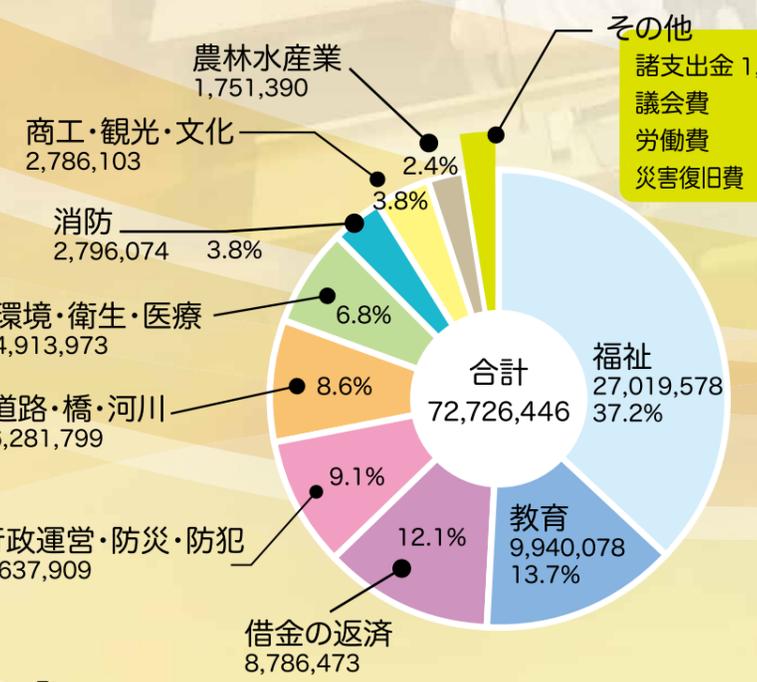
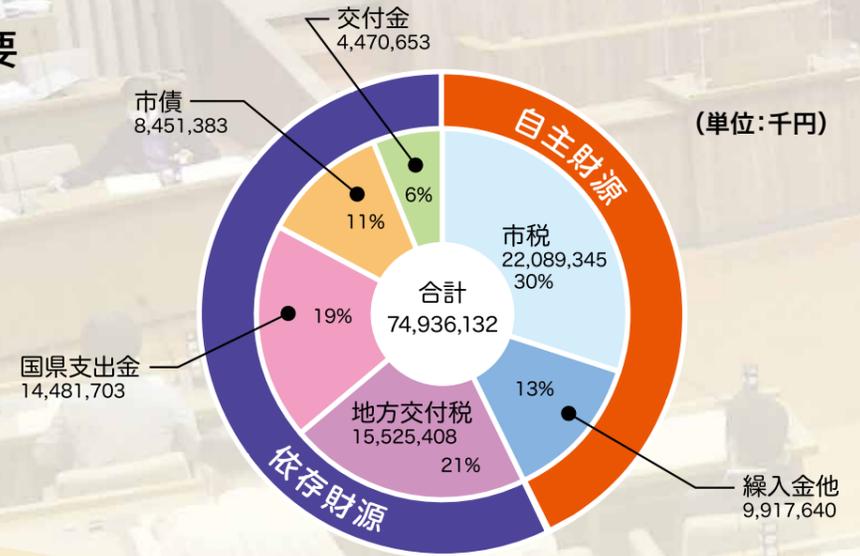
令和元年度松阪市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定についてなど29議案を認定・可決・賛成・同意

# 令和元年度決算を 議会がチェック!

令和2年9月定例会が9月4日から10月9日まで36日間の会期で開催されました。一般会計と8つの特別会計及び水道、下水道、市民病院の3つの企業会計の令和元年度決算認定については、各分科会の所管ごとに集中的に審査し、本会議最終日には、決算調査特別委員長から審査報告が行われ、認定されました。

## 一般会計 決算収支の概要

### 歳入



28人の議員が  
厳しくチェック  
したんだね

### 歳出



## 請願 請願5件を採択、3件を不採択



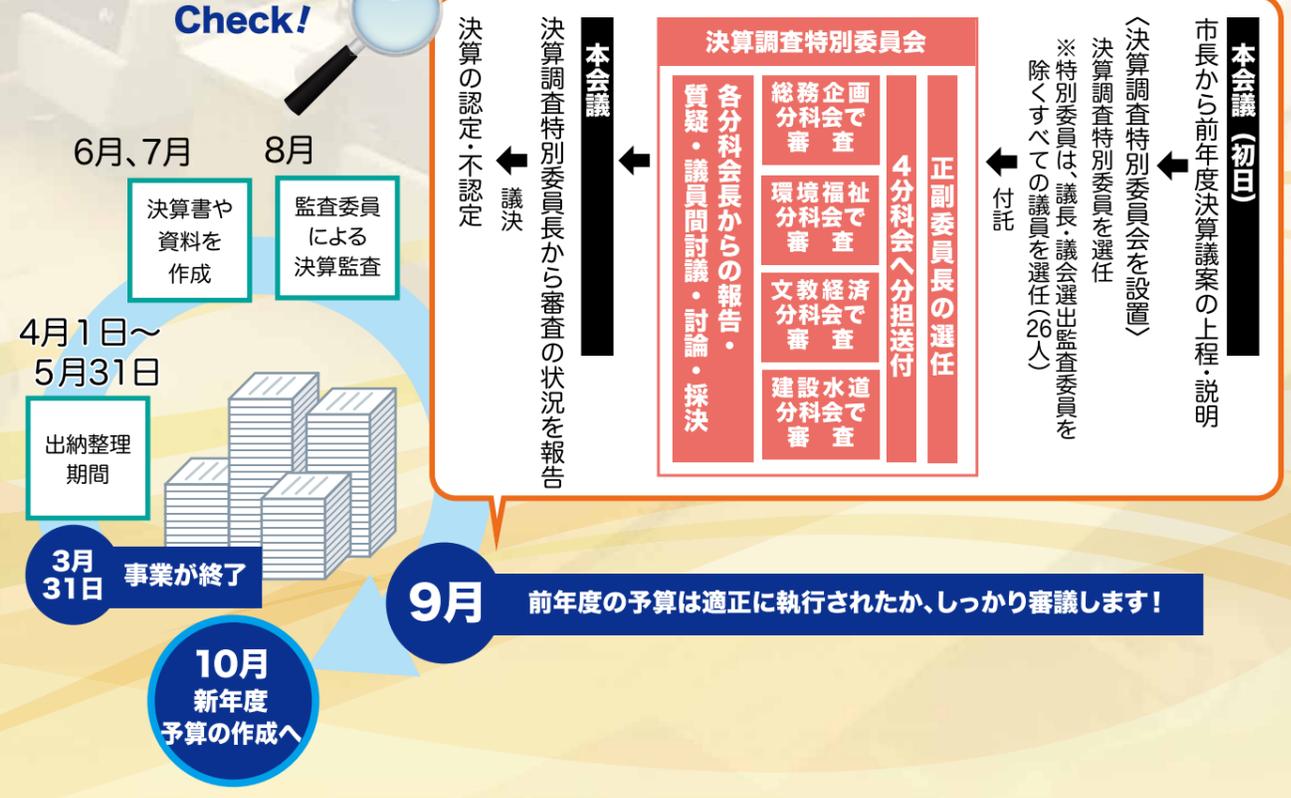
「子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書」など5件を採択

「文化財収蔵庫建設計画の情報公開と建設地の再検討を求める請願書」など3件を不採択

## 決算審議

決算審議は9月4日に議案上程を行い、議長、監査委員を除く26人で決算調査特別委員会を構成し、9日に本会議での質疑、18日に総務企画、23日、28日に環境福祉、24日、28日に文教経済、25日に建設水道の4つの分科会を行いました。10月7日に決算調査特別委員会での分科会長報告、討論、採決、9日の本会議で認定・不認定の採決を行いました。

## 決算審議スケジュール



# 総務企画分科会

## ●災害用備蓄管理事業

- Q 災害備蓄用粉ミルクの備蓄数は600箱だが、これで最大の数なのか。
- A 災害備蓄用粉ミルクの賞味期限が1年半であること、また、三重県備蓄・調達基本方針等における備蓄の上限が600箱となっていることから、今回の備蓄数となった。

決算額 13,245,620 円



## ●若者チャレンジ松阪創造事業

- Q まつさか若者クラブへの参加者が少ないように思うが、その要因は。
- A 参加者は大学3年生から35歳までの年齢構成となっているが、仕事をしている人が多いため、日程調整が難しかったことが要因と考えられる。参加者は少ないが、市政への関心を持って自らの意思で参加をしてもらっており、委員の一人は今回の総合計画審議会委員になっている。

決算額 13,762 円



## ●防災訓練事業

- Q 防災訓練事業の詳細な内容と、今後の方向性は。
- A 令和元年度は、三重県との合同による「三重県・松阪市総合防災訓練」を実施し、港地区全住民を対象に津波避難訓練と、「松阪ショッピングセンターマーム」にて奈良県防災航空隊による物資受け取り訓練を実施した。今後は参加者に対しても、単なる見学だけには終わらないよう、例えば、各避難所の備蓄品を実際に見て触れてもらえるような体験型訓練を実施していきたい。

決算額 696,784 円

## ●情報化推進事業

- Q 松阪市総合アプリ「松阪ナビ」のダウンロード数はどれくらいか。また、アプリは双方向性を備えているとのことだが、どこまで利用されているのか。
- A ダウンロード数は令和2年3月末で1,496件である。双方向性の活用については、公園の管理や道路維持管理という部分でこの機能が利用されており、利用者の事故を未然に防ぐことができる効果が十分に期待できるものである。

決算額 2,923,725 円



## ●公共施設マネジメント推進事業

- Q 公共施設マネジメントにおいて、これまでは延べ床面積の総量削減を目標として設定していたが、その見直しを行った。どのように行われたのか。
- A まず公共施設マネジメントシステムを令和2年度に導入し、中長期的な視点で建て替えや修繕のシミュレーションを行い、全施設の費用を積算した上で、次に、複合化や集約化、民間施設の活用などを検討することで更新費用を削減するとともに、維持管理費を含めた施設にかかるトータルコストを削減するという目標を設定することとした。これまでの松阪市公共施設白書は元データとして活用していく。

決算額 1,189,633 円



## 環境福祉分科会

### ●交通安全啓発事業

- Q 10万人あたりの交通死亡事故の死者数がワースト1位であったが効果的な交通安全啓発ができていないのか。
- A 交通死亡事故が発生した場合、その事故の状況に応じた啓発を行っている。

決算額 4,207,272 円



### ●個人番号カード交付事業

- Q マイナンバーカードの発行枚数と費用対効果はどうであったのか。
- A 発行枚数は、令和元年度末で、34,171枚、交付率20.76%である。また、費用対効果は国の事業であり分析できないが、コンビニエンスストアで証明書を取得できる効果があり、コンビニエンスストアでの交付が全体に占める割合は、6.41%である。



- 意 全体の6.41%が費用対効果に値するのか疑問  
見 に思う。

決算額 31,648,405 円

### ●民生委員児童委員一斉改選事業

- Q 定員が満たされない要因は。また、欠員となっている地区はどのようにカバーしているのか。
- A 年度末において388人の定員に対して、13人が欠員となっている。主な要因としては、定年延長等により、地域の活動に関わっていただく時間的余裕がないことが挙げられる。また、欠員となった地区は、自治会に協力いただいている。

決算額 584,902 円

### ●保育園管理運営事業

- Q 国基準で待機児童が出たことをどう捉えているか。
- A 公立、私立保育園の建設により定員を増やしている。また保育士確保の施策を進めているが、0、1、2歳で待機児童が発生してしまう。この年齢に特化した対応を検討している。

決算額 713,734,904 円



### ●終活情報登録事業

- Q エンディングノートの作成・普及等の啓発は。
- A エンディングノートや終活に関する講座を行った。また、45会場694人からアンケートを取り、終活に関する関心や、エンディングノートに書き留めておきたい内容など、市民の反応を確認できた。

決算額 722,372 円



### ●クリーンセンター管理事業

- Q リチウムイオン電池による火災発生件数は。また、鉄の塊の混入に関してどんな対策を講じたか。
- A 高速破砕機での火災発生件数は86回。少しでもおかしいと感じた時は、破砕機を止めて確認を行い、月に一度はごみの展開検査を行っている。

決算額 15,039,637 円



### ●松阪市民病院事業決算

- Q 外来患者数が減った要因は。
- A かかりつけ医を持っていただく働きかけが浸透していると考えます。
- Q 11年連続の黒字であるが、令和元年度の純利益が減った要因は。
- A 収益は増加しているものの、これにかかる医薬材料費が高額となっているため、利益としては薄くなっていることが増収減益の一因である。



# 文教経済分科会

## ●障がい者雇用促進事業

決算額 327,170 円

- Q 民間企業における松阪市の障がい者の法定雇用率は、1.97%と県内最下位であるが、要因と対策は。
- A 障がい者の雇用がない企業において、障がい者を受け入れる環境がないことなどが考えられる。障がい者雇用優良事業所、障がい者雇用の未達成事業所を訪問するなど、2つの方向から障がい者雇用促進の啓発を行っている。
- 意 令和元年度の障がい者雇用率の目標が達成されていないにも関わらず、部局長の「実行宣言」でA評価となっていることは問題がある。



## ●水田活用推進対策補助金

- Q ジャンボタニシの防除について周知と石灰窒素の散布の効果は。
- A 補助金の説明会を営農指導者に対して1回、農家に対しては、JA松阪主催で2回、北部農林水産事務所主催で1回の計3回開催した。石灰窒素の散布を行った35農家に対して実施したアンケートでは、4分の3の農家から実際に効果があったという回答を頂いている。

決算額 50,793,774 円

## ●地域公共交通システム事業

- Q 鈴の音バス市街地循環線利用者の数が大きく減った要因と支援策は。
- A 運賃を100円から200円に改定したこと、令和2年2月・3月の新型コロナウイルスの影響で大幅に減った。65歳以上の方には、回数券を半額で、障がい者の方には、運賃を半額に割引して利用促進に努めた。
- Q 新たに幸中央線さいわいで運行を開始したが、トータルして利用者数が減ったが見解は。
- A 利用者の減少は、非常に大きな課題と考える。利用促進を図る必要がある。

決算額 152,700,022 円



## ●企業誘致推進事業

- Q 市内外の企業500社以上訪問した企業の内容と実績は。
- A 新しい土地を必要としている企業に対して、企業ニーズをつなぐ金融機関やゼネコン、産業支援機関等を訪問。市の産業の状況や用地情報等をお知らせし、投資予定の企業からの問い合わせに市内用地の情報提供等をした。投資に結び付いた案件もあるが、成立しなかった案件も多数ある。
- Q 企業の誘致に関して課題は。
- A 市として、十分に提案できる用地がない。

決算額 11,259,296 円



## ●いじめ等対策事業

- Q 総合計画における学級満足度の数値目標と比べ、その結果が下がっているが要因は。
- A 全国指標の基準値が変更になり、旧基準値結果からみると下がったように見えるが、新基準値での結果は、全国平均を上回っている。
- Q 学級満足度尺度調査の結果と教師の若返りの相関性を、どう分析しているか。
- A 新規採用の教師に対しては、不登校や、いじめの早期発見・早期対応につながる学級満足度尺度調査等の研修等も実施。前年度と比べて大きく下がった認識はない。

決算額 12,986,153 円



## 建設水道分科会

### ●道路台帳整備事業 決算額 18,795,700円

- Q 道路台帳の補正を行うことによる市民へのメリットは。
- A 公共事業や民間開発で公道として建設された道路を道路台帳へ追加する手続きを継続し、道路台帳を開示することにより土地の活用が活発となり、地域の活性化につながる。

### ●交通安全対策施設整備事業 決算額 31,192,820円

- Q 交通安全対策施設整備にかかる要望の件数は。また整備ができなかった場合の対応は。
- A 建設保全課全体の要望数としては647件あり、処理数は403件で処理率は62.2%である。要望を受けたら職員が十分な協議や調整を行い、経過観察や次年度に対応となることを地域の方に説明をしている。

### ●松阪六軒線道路改良事業

- Q 歩道が広くて車道が狭いことから安全対策の工事および対応内容は。
- A 令和元年度は仮橋の撤去とそれに関連する護岸工事を行った。旧橋の道路幅員と同じで、歩道については最低幅員の2m、車道は4.5mとなっている。安全対策としては注意看板やポストコーン、路面標示を行った。

決算額 23,968,000円



### ●空家等対策事業 決算額 1,722,793円

- Q 平成30年度と比べて大幅に減っている理由は。
- A 平成30年度は松阪市空家等対策計画の作成費用として、空家所有者の意向を調査するための業務委託料があったが、令和元年度には発生しなかったためである。



### ●狭あい道路整備促進補助金

- Q 助成金と報償金の支払基準は。
- A 助成金は道路後退用地を寄附していただくことから、測量代、分筆登記代を助成金として支払うものである。また、道路後退用地を市が買い取るのではないため報奨金という形で支払い、算定については年度当初の固定資産税の路線価に面積を乗じて算出して出している。

決算額 8,752,000円



▲下水道事業計画区域図

### ●公共下水道事業決算

- Q 下水道整備済みの区域の中で下水道に接続されていない理由は。
- A 1番の大きな理由は接続工事費が高額であること、その他に住居の建替えのタイミングで考えているとのこと。



### 9月定例会の議決結果

議員の賛否内訳は下の表をご覧ください。過去の賛否内訳も議会ホームページから見るができます。



○は全会一致、●は賛成多数、✕は賛成少数

check!! →

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
令和元年度決算認定	109 一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定	●	その他	128 区域外における公の施設の設置に関する協議	○
	110 水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○		129 訴えの提起	○
	111 水道事業決算の認定	●	請願	1 子ども一人一人を大切に、感染症にも強い少人数学級の推進を求める請願	✕
	112 公共下水道事業決算の認定	○		2 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書	○
	113 松阪市民病院事業決算の認定	○		3 義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書	●
補正予算	114 一般会計補正予算(第5号)	○		4 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書	●
	115 一般会計補正予算(第6号)	○		5 防災対策の充実を求める請願書	○
	116 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○		6 文化財収蔵庫建設計画の情報公開と建設地の再検討を求める請願書	✕
算	117 松阪市民病院事業会計補正予算(第1号)	○		7 介護保険計画の更新年度にあたり、議会として、閉会中を含め、当該常任委員会が中心となって、介護保険料の現状と課題について調査研究に努めていただき、次期計画に反映していただくこと等を求める請願	✕
	130 一般会計補正予算(第7号)	○		8 工事等入札制度における最低制限価格の見直しを求める請願	○
条例	131 水道事業会計補正予算(第1号)	○		6 松阪市議会特別委員会の設置	○
	132 松阪市民病院事業会計補正予算(第2号)	○		7 地方財政の充実・強化を求める意見書	●
	118 堀坂山の家条例の廃止	○		8 防災・減災、国土強靱化対策の継続及び拡充を求める意見書	●
	119 職員の給与に関する条例等の一部改正	○		9 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○
	120 手数料条例の一部改正	○		10 子供の貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書	○
	121 手数料条例の一部改正	○	11 義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書	●	
	122 指定居宅介護支援等の事業の人員、設備及び運営に関する基準条例の一部改正	○	12 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書	●	
人事	123 森林公園条例の一部改正	○	13 防災対策の充実を求める意見書	○	
	124 教育集会所条例の一部改正	○			
	133 監査委員の選任	●			
その他	134~137 人権擁護委員候補者の推薦	○			
	125 市道路線の認定	○			
	126 市道路線の廃止	○			
	127 市道路線の変更	○			

議長 西村友志は採決に加わりません。○は賛成した議員、✕は賛成しなかった議員、除は除斥。

### 表決が分かれた案件に対する各議員の賛否

議員名	真政クラブ					松政会					公明党			日本共産党		市民クラブ		無所属の会・みらい		しなと会		会派に所属しない議員					
	坂口秀夫	堀端脩	野呂一男	山本芳敬	大平勇	中村誠	松本一孝	谷口聖	市野幸男	米倉芳周	松岡恒雄	山本節	西村友志	殿村峰代	栗谷建一郎	久松倫生	橘大介	中島清晴	田中正浩	西口真理	海住恒幸	赤塚かおり	深田龍	植松泰之	沖和哉	中村良子	濱口高志
109	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
111	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
133	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願1	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願6	✕	✕	✕	✕	✕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願7	✕	✕	✕	✕	✕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 新型コロナウイルス感染症対策の取り組み



松阪市HP

**インフルエンザ予防接種 ワクチン助成金**

生後6カ月～中学生2,000円  
65歳以上高齢者1,000円(既存助成に追加)

**ネウボラ・母子保健事業**

オンラインによる母子健康相談・教室の実施

**修学旅行キャンセル費用支給**

市内小・中学校の修学旅行の日程・行先の変更に伴うキャンセル費用を全額支給

**松阪牛を給食に!**

フードロスを防ぎ、市内小・中学校、保育園、幼稚園、こども園の給食で提供

**私立保育園感染症対策 緊急補助金**

衛生備品の購入や職員への慰労励励金など

**公立保育園感染症対策**

紙オムツ回収費用、大型ダストボックスの設置

**私立・公立保育園、市民病院等トイレ洋式化**

市庁舎等の公共施設のトイレを洋式化

**市役所・議会 ICT化推進**

オンライン会議の推進に向け、タブレットPCや無線LAN環境の整備、議場の改修

その他、さまざまな形でWithコロナ、Afterコロナ対策を進めていきます。

### 議員研修会



8月28日、新型コロナウイルス感染症に対する理解を深めるために「COVID-19感染状況と今後の見通し」と題して、議員28人全員が松阪市民病院呼吸器センターの畑地治統括副院長の講義を受けました。

日々、感染症病床で奮闘いただいている副院長に、たいへん貴重な時間を割いてお話いただいたことに感謝し、今後の新型感染症対策を進めるうえで生かしていきたいと考えています。

※COVID-19…新型コロナウイルス感染症の正式名

## きてんか! 議場見学!

みなさん議場に、ぜひお越しください!

9~10月に多くの小学生が見学に来てくれました。



会議中は子ども達も真剣。

ここが聞きたい!

# 一般質問



※コロナ対策として、質問席、答弁席にアクリル板を設置しています。

9月11日、15日、17日に18人の議員が市の執行部に対し、一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、一人あたり50分（答弁時間含む）の時間制限の中で質問しました。

## 一般質問スケジュール

と き	登壇者（質問順）		
9月11日(金)	①久松 倫生 ④橘 大介	②濱口 高志 ⑤深田 龍	③沖 和哉 ⑥松岡 恒雄
9月15日(火)	①松本 一孝 ④田中 正浩	②山本 節 ⑤殿村 峰代	③赤塚かおり ⑥中村 誠
9月17日(木)	①中村 良子 ④楠谷さゆり	②野呂 一男 ⑤海住 恒幸	③山本 芳敬 ⑥栗谷建一郎

一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。

質問時間は、1人50分。（答弁時間を含む）◎総括、一問一答、分割のいずれかを選択して行います。

※QRコードからは、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。（別途通信料が発生します）



日本共産党



ひさまつ みちお  
久松 倫生 議員



会派に所属  
しない議員



はまぐち たかし  
濱口 高志 議員



### 新型コロナ感染対策は、医療政策の問題を浮き彫りにした

**問** 新型コロナ感染症対策は市民病院の在り方の大本の「地域医療構想」そのものが問われることになったのではないかと。

**答** 議論の途中である。一例では、新型コロナ感染拡大で変化に合わせて修正の必要がある、疾病構造や人口構造は変わるものではない、と意見が出ている。調整会議で議論していく必要がある。

**問** 修正が必要というのは一つの変化。4月10日と11日で病院の状況が変わった。10日までは機能転換で感染症病院でなくなるという「提言」の説明だったが、次の日から感染症病院としての役割を果たすという大きな転換ではないか。

**答** 4月11日に感染者が確認されたことは大きな出来事で、説明会は中断しこれまでの内容のままでは市民の理解をいただけない、そういったところもある。

**問** 公立病院としての市民病院の救急機能、感染症を含めた機能は維持していただきたい。11年間黒字という全国的にもまれにみる実績ある病院を機能転換させる医療政策こそ転換されるべきである。

**答** 日本共産党の地域医療構想に反対という立場からのことかと思う。

**意見** 感染症病床、保健所を減らしてきた医療政策の問題が浮き彫りになっている。

**その他の質問**

- ・ コロナ感染への学校での取り組みと教訓
- ・ 水道料金などコロナ禍での生活支援



### なぜ市長は大学誘致にこだわるのか

**問** 大学は外へ出て、帰ってきて社会人として40年税金を納めてもらう方が市にとってメリットがあると思う。

公立大学を誘致する場合、市・県の負担金はどれくらいになるのか。

**答** 50億～100億円のイニシャルコストがかかってくるといわれている。

県の調査では転出の6割が若者。若者定住ということから大学誘致は有効と認識している。

**意見** 三重中京大学が閉学した時が人口のピーク。オンライン授業前提は新しい生活様式での大学のあり方だと思う。

大学を誘致するより、松阪に住み県内で働いたら返済不要になる奨学金を検討していただきたい。



### 避難所に頼らない防災のあり方

**問** コロナ禍で避難所に行きたくない人が増えているが、どれくらいの家庭で非常食・水を備蓄しているのか。

**答** 市民意識調査の結果では約半分。  
**意見** なぜこんなに低いのか。ぜひとも啓発をお願いする。

**問** 県内で蓄電池、雨水タンクに補助金を出しているところがある。松阪市も導入する考えはあるか。

**答** 実施している県内の市町は少ない。今すぐという考えはない。



### 松尾地区コミュニティ交通 今年度内のスタートを約束！

- 問** 松尾地区コミュニティ交通は地域が長い間協議してきた。進捗はどうか。
- 答** 今年6月の地域公共交通協議会で一部再協議となったが、大筋で合意された。
- 問** 年度内には開始できるのか。
- 答** 皆さんの期待は理解している。年度内の早い段階で開始できるよう進めたい。

### 誰もが読みやすい ユニバーサルデザインフォント！

- 問** 障がいを持つ方だけでなく、誰もが認識しやすい書体がUDフォントであり、法による合理的配慮義務もある。全庁的に積極的な導入が必要ではないか。
- 答** 市には字体の規定はなく、可読性や視認性を踏まえ、現状は各職員が読みやすいと判断した字体を使っている。
- 問** Windowsから4種類のUDフォントが無償提供されている。職員PCで使用できるよう早急に対応すべきでは。
- 答** 現在UDフォントが使えるPCは約100台であり、令和3年度までに更新し、事務部署全体に配備する計画である。

### GIGA スクールと選択登校制 学校は安全に学べるのか？

- 問** オンライン授業や不登校対応も含め、中長期的な研究が必要ではないか。
- 答** 一人ひとりに寄り添いながら、ICTの効果的な活用を検討し、絆を結んでいく。

**用語解説** UDフォント・・・読みやすく、読み間違えにくく、分りやすいを追求してつくられた書体データのこと。



### コロナウイルスによる誹謗中傷対策 一時代に合わせた法的整備をー

- 問** 新型コロナウイルス感染者への差別などを含めた現状は。
- 答** 店の名前を名指しして、従業員が感染したとの事実無根の書き込みをSNSで拡散した男女2人が、名誉毀損の疑いで書類送検される事件が発生した。また県内の事例として、感染症への嫌がらせや、他県ナンバーの車へのいたづらなどの偏見や差別の実態があると聞いている。
- 問** 松阪市人権施策基本方針(第二次改定)は2014年。松阪人権教育基本方針の改定が2009年。一言で言えば、時代に合っていない。新型コロナウイルスの文言など、時代に合わせた改定を提案するが考えは。
- 答** 全ての人々が安心して病気と闘える環境を作るために、病気に対する正しい理解と国や地域社会の支援が必要であること、また、差別や偏見に立ち向かえる正しい知識を身につけるとともに自分自身にできることを考え合っていくことが重要であると考えている。

### 新型コロナウイルス感染症に関する、誹謗中傷への対応についての考えは。

- 答** デマによる営業妨害を規制できるのは警察。市は松阪警察署とも十分連携している。また、個人のSNSではなく、誹謗中傷につながらないように、市が正確な情報をいち早く出すことが大事と感じている。



### 中山間地域の振興

- 問** どんな中山間地域を目指し、なにを重点的に行っていくのか、みんなが共有できるビジョンもしくは計画を示して欲しいと思うがいかがか。



▲松阪香肌イレブンのひとつ、檜塚奥峰の登山風景

- 答** 「過疎地域の活性化を考える会」での取り組みを継続し、過疎計画や実施計画に基づいて中山間地域の振興を図っていきたい。
- 問** 「香肌峡」のホームページを一例に、ウィズ&アフター・コロナを見据えた取り組みの一つとして、その地域でない人に発信したり、来てもらうための仕掛けづくりというのは観光交流課の方が得意分野。掲載内容や掲載方法を振興局と観光交流課が協働して取り組んでもらいたいと考えているがいかがか。
- 答** 観光交流課は市の観光全体をプロモーションしていく役割がある。一方、飯南・飯高は香肌峡というある程度限られた地域の情報発信。やはり全体の中の一つの施策として取り組んでいるので、しっかりと観光交流課、産業文化部と連携を図っていく。



### 密を防ぐ新しい生活様式を 築くために

- 問** 地域未来構想20の中で、コロナ禍だからこそできる事業、施策が紹介されている。本市の姿勢としてどのように取り組んでいくのか。
- 答** コロナに強い社会環境整備、新たな暮らしのスタイルの確立、新たな付加価値を生み出す消費や投資の促進の視点から、20の政策分野の施策例を参考に、新しい生活様式で感染症や経済危機にも強い地域の構築に向けた事業を計画している。

### 令和2年4月28日以降生まれの 新生児を対象とした子育て支援

- 問** 1人一律10万円の特別定額給付金は、4月27日の基準日の翌日以降に生まれた新生児には支給されなかった。地方創生臨時交付金の活用を再考できないか。
- 答** 基礎自治体として事業展開するのは生活支援が前面に出てこないといけない。不公平感には十分に理解している。これから補正予算を組んでいかなければならない。考えるところまではいかないが、片隅には置いていきたい。
- 意見** 10万円にこだわらず、5万円、3万円のところ(自治体)もある。ぜひとも再考していただきたい。

- その他の質問**
  - ・松阪市の災害協定
  - ・コロナ禍における事業継続計画(BCP)
  - ・備蓄の在り方



まつもと かずたか  
松本 一孝 議員



やまもと たかし  
山本 節 議員



あかつか かおり  
赤塚 かおり 議員



たなか まさひろ  
田中 正浩 議員

### 選挙投票場所への移動、 高齢者に配慮を

**問** 近年、選挙投票に行きたいが、免許の返納、身体的理由、投票場所までが遠く坂道も多いなど、高齢者にとって投票場所へ行くのが困難との声がある。このようなことも投票率低下の一因となっていると思われるが、市として何か対策はあるか。

**答** 国は、有権者の移動支援について、一部の有権者の移動支援は、選挙の平等、公平性を損なう恐れがあるとの見解であったが、近年の少子・高齢社会が進行し、選挙人の減少などを理由として投票所の統廃合が進んだ中山間地を中心に地域の実情を踏まえ、移動支援等を実施するようになり、巡回・送迎バス、臨時バス、無料タクシーなどの運行、また移動式期日前投票所の運営などの事例も出てきている。

しかし、移動支援を実施する自治体は増えつつあるが、自治体によっては、利用者がいない場合や、少数の場合もある。導入に至った経過や目的、さらに地域の特性や状況などさまざまであり、費用対効果や公平性、周知啓発などを含めた調査、研究が今後必要かと思う。

### 風水害対策 マイ・タイムライン導入は

**問** 総務企画委員会から防災の日を制定するようにとの提言、どのように受け止めているか。

**答** 今後、防災の日を毎年10月第4日曜日の制定に向け進める。

**問** 風水害における被害状況を鑑み、マイ・タイムラインを速やかに普及すべきと考えるが。

**答** 今後他市の状況等も参考にしながら調査研究したい。

**問** 避難所に行くだけが避難ではないという。車中泊がこれから増えてくると見込める。エコノミークラス症候群の解決方法として、弾性ストックングというツールがあるが、備蓄する考えは。

**答** 県の備蓄調達基本方針等には示されておらず、今後示された時点で備蓄をしたい。

### 自殺対策 MHFAプログラムで 検証されたらどうか

**問** メンタルパートナー養成講座の必要性は。

**答** 自殺予防を図るために重要で大切な存在である。

**問** メンタルヘルスファーストエイド、鬱から自死に至らないよう専門的なプログラムで検証されていければどうか。

**答** 今進めている自殺対策に、今後参考にさせていただきたい。

**用語解説** マイ・タイムライン・・・防災行動を時系列に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするもの  
MHFA・・・こころの健康に悩んでいる人に対して、適切な初期支援を行うためのオーストラリアで開発された行動計画

### 医療的ケア児への支援

**問** 高度な医療的ケアが実施できる技術者が増える事は、障がい福祉サービスを幅広く展開していくことにつながる。支援体制を整える事を検討していただきたい。

**答** 関係機関が連携を図りながら、可能な範囲で支援を進めていきたい。

### キャッシュレス化で地域活性化

**問** 戸籍住民窓口でキャッシュレス決済を導入したが、その目的は。

**答** 非接触、混雑緩和、感染症予防対策として期待できる。

**問** キャッシュレス納税の変化は。

**答** スマホでの納付件数は、今年度8月末、前年同月比で208件から2,554件1,228%と大幅に増えている。

**問** マイナポイント事業等、行政と民間事業者が連携する事が、経済回復の重要な施策と言われる。キャッシュレス決済は有効であると考えているか。

**答** キャッシュレス決済は新しい生活様式への対応が可能となる利点があるが、店舗の初期導入費用や決済手数料の負担の少ないシステムを調査研究していきたい。

**その他の質問** ・ウィズコロナ、ICT活用で感染防止対策



### 浸水地域に建設する文化財収蔵庫 建設に4億3,700万円

**問** 浸水地域に本当に造る必要があるのか。他の場所では。

**答** 浸水地域という区分であるが床面を周辺地面から1.3m高く設計している。

**問** 基礎の部分を1.3m高くすると建設費がかなり高くなる。別の場所で安く上げることを考えなかったのか。

**答** 文化財を適切に管理できる人的配置が必要と考えている。

**意見** 別の場所で基礎をいじらなくて建設費を少しでも安く済ますという考えで造ってほしい。

### はにわ館空調整備等に 2億2,000万円本当に必要か

**問** 今回の工事で空調機の空調ダクト、冷媒配管、ドレン管などの交換は。

**答** 倉庫を収納庫に改修する工事以外は配管等は既存のものを極力使用する。

**問** 現在の施設機器を定価換算し、新設収納庫へ10馬力を2台付けても3,000万円加湿器4台が入っても5,000万円である。本当に2億円以上のお金がかかるのか。

**答** この工事全体の費用ということで2億2,000万円の数字を上げた。

**意見** 市の施設で空調工事が増えてきている。今の技術者を否定するわけではないが、社会人で現場を知っている技術者を加え、業者と事業に対してしっかり向かい合っていたいただきたい。



とのむら みねよ  
殿村 峰代 議員



なかむら まこと  
中村 誠 議員



なかむら よしこ  
中村 良子 議員



のろ かずお  
野呂 一男 議員



### 来年度からの児童発達支援センターの設置をよりよいものにするために

**問** 現在のそだちの丘に児童発達支援センターを設置するための課題や経営形態は。  
**答** 保育所等訪問支援、障害児相談支援を新たに付加するため保育所等への周知と事業にかかわる専門員の確保、事業環境が課題。経営形態は直営堅持していく。

### 新型コロナウイルス感染症 第2波における松阪市民病院の役割

**問** 市内総合病院の職員の発症で、救急病院の受け入れ中止となった時の役割は。  
**答** 地域の二次救急をストップさせるわけにいかないという強い思いの下、8日間の救急医療を2基幹病院で補うことにした。幸いにして松阪市域で完結した。  
**問** 救急体制も取りながら、なおかつ感染症病床を持つ公立病院としての役割をしっかりと果たしたと思うがいかがか。  
**答** 役割を果たせた大きな要因は、医療スタッフの使命感、責任感から。  
**意見** 市民病院の役割として感染症の対応という急性期病院として頑張っていたきたい。

ソフト面が大事で、一度壊したらもとは戻せない。大切にさせていただくべき。

**その他の質問** ・PCR検査センターの実績と今後

### 国道368号～峠のさくら～

**問** 国道368号仁柿峠バイパスの現在の工事の進捗状況は。  
**答** 仁柿峠バイパス区間延長3.92キロメートルのうち、1.93キロメートルについては整備が完了し、事業費ベースとして、約50%の進捗率と聞いている。

**問** 峠地区の「峠のさくらプロジェクト」この取り組みを中山間地域の交流人口の増加につなげていきたい。市でPRすることはできないか。  
**答** 峠の桜についても、香肌峠のホームページ、あるいはSNSなどで花の名所として紹介していくことはできていると感じている。

**問** 峠、登山道が近いことから、まつさか香肌イレブンにひもづけできないか。  
**答** 今回は登山に関する情報がメインになっているが、そういった情報も含めてまつさか香肌イレブンのPRを検討していきたいと考えている。

**意見** この峠の桜をしっかりとPRの検討をしていただきたい。



**その他の質問** ・ペット同行避難所

### 篠田山斎場で別れの時を過ごせるように

**問** 篠田山斎場で湯茶を持参し、故人のことを思い、話しをしていると、葬儀会場として使用するというで退室させられた。条例3条の3に「葬祭室及び待合室」と明記され、接続詞、「及び」は「と」であり、条例上待合室はある。いかがなものか。  
**答** 火葬炉の数に応じた待合室の確保も問う。新型コロナウイルス感染予防対策で、葬祭室は1室とし、一方を待合室としている。この形態を検証し、確保に努める。松阪市斎場及び火葬場のあり方検討委員会の提言では、将来、火葬炉8基が必要となる。故人をしのぶ待合室も検討する。

### 歴史民俗資料館と小津安二郎青春館

**問** 小津安二郎青春館が歴史民俗資料館の2階に移動すると民俗資料館のスペースは狭められる。民俗資料館との区分け、門前への表記、飯高に保存されている親族からの提供資料も含め、多くの関係資料との連携は重要!構想を問う。  
**答** 小津安二郎監督の功績や人物像の紹介と民俗資料館展示が相乗効果を生み出す。市民や観光客に存在を知っていただけ。来館者にしっかり分かる門前表記をする。全国の専門的知見者、監督ゆかりの方々とのつながりも大切にする。文化財の持つ潜在力を一層引き出し、活用の幅を広げる取り組みを進める。

### 高齢者、後期高齢者へのさらなる健康支援は

**問** 今年度、高齢者・後期高齢者の皆さんに取り組みされている健康支援策の現状は。

**答** 後期高齢者の方は医療機関を受診されない方や、行政の窓口へ相談することに敷居が高いと思う方が多いことから、地域包括支援センターの職員が家庭へ訪問し、日常生活の実態把握をするとともに、要介護状態に陥らないよう生活習慣へのアドバイス、近隣のサロン、宅老所、介護予防教室等の紹介などを行っている。

**問** 全国の市町村において、高齢者の健康悪化防止対策として、昨年度から仕事の紹介をされているところがあると聞く。

また、健康維持のため中小企業へ出向いて見える方もいるそうだが、高齢者の健康維持としての取り組みへの考え方は。

**答** 地域の高齢者が現役を引退後、仕事を希望し、自分の活躍場所を求めていることの把握が必要である。また、高齢者の担当部署だけでなく、商工政策課、地域づくり連携課などの関連部署、さらには社会福祉協議会との連携による取り組みの共有や協議を行い、先行している市町村の実践事例も研究していきたいと考えている。



真政クラブ

やまもと よしひろ  
山本 芳敬 議員



市民クラブ

くすたに  
楠谷 さゆり 議員



無所属の会・みらい

かいじゅう つねゆき  
海住 恒幸 議員



日本共産党

くりたに けんいちろう  
栗谷 建一郎 議員



### 「我が事」マイ・タイムライン 地区防災計画の策定推進

**問** スーパー台風の襲来にはいつ避難指示が出て避難場所は3次まで開放するのか。

**答** 風雨が強まる前に避難準備情報を発令し、早期安全確保をするよう緊急速報メールを発信し、全ての避難所を開設することが想定される。

**問** 川が氾濫するまでに「いつ」「なにを」しておけばいいのかを考えておく、各自で作成する防災行動計画、マイ・タイムラインの推進に対する見解は。

**答** 事前に考えておくことは非常に重要と認識している。調査研究していく。

**問** 市民一人ひとりが災害を「我が事」と捉え、解消するための地区防災計画作成をいかに推進していくのか。

**答** 地域の特性に応じた地区防災計画の策定は必要と考えている。先進的な取り組みを紹介しながら策定支援をしていく。

### スマート自治体への転換

**問** AI(人工知能)・RPA(ロボティックプロセス・オートメーション)等のスマート自治体への転換が求められているが、検討されているのか。

**答** 自治体行政スマートプロジェクトに参画し、AI・RPA等を活用した標準的かつ効率的な業務プロセスの構築に取り組んでいる。

#### 用語解説

RPA・・・人間が行ってきた定型的なパソコン操作をロボットにより自動化するもの

### 修学旅行を松阪発信のチャンスに

**問** コロナの影響で三重県の多くの小中学校の修学旅行先が県内になる中、松阪の観光行政にどう生かしていくのか。

**答** 現在、県内から37校、県外から3校ある。修学旅行は松阪観光の新しい形態であり、体験メニューや観光周遊ルートの充実など課題を整理し、市として観光プロモーションなどPRに力を入れる。

### 救急車の不適正利用を減らす啓発を

**問** 広報まつさかの特集以来、どのように啓発に取り組んできたのか。

**答** 令和元年度は1万4,963件の出動で、搬送の6割が入院加療を必要としない患者であった。子どもの救急対応マニュアルに啓発を掲載、松阪地区救急相談ダイヤルの案内など、救急車の適正利用に併せ、適性な一次救急医療の利用について、周知・啓発に努めている。

### 生活困窮世帯の高校生にも 無料の学習支援を

**問** 県は高校生世代の学習支援を実施する市町の数、令和6年には29に増やす目標値がある。松阪市も先進市に。

**答** 義務教育の充実が重要と考えており、高校生までの拡大の予定はない。

### 専門家等には相談無しに、 「鈴の森公園」へと180度変更

**問** 前回、公園の利用者の立場で文化財収蔵庫というものをとらえたが、今回は文化財の側から問題点を指摘したい。(他の議員への)答弁に長谷川家文化財専門委員会で収蔵庫は必要であるとの声が再三出ていたと言うが、それらの意見は「鈴の森公園に収蔵庫を造れ」という声ではなく、長谷川家の中で保存することを求めたものだ。場所を変えるならその方々に説明する必要があるのではないかと。そこから出発すべきだ。

鈴の森の収蔵庫という議論ではなく、長谷川家が大前提。そこから180度方向を変えたのに、平成20年から足掛け10年意見を頂戴してきた専門家に説明しないのは大きな問題だ。収蔵庫の場所を協議したのは「平成28年度後半から29年度前半」としているが、松阪市は28年後半に長谷川家の中で保存する計画を出した。それと同時期に場所を見直す検討に入ったというのは矛盾するのではないかと。

**答** 通告にないのでお答えできない。

**問** 平成28年の時点では長谷川家の資料は長谷川家の中で収蔵・展示していくという考えに立っていたのかと聞いている。

**答** 現在考えている収蔵庫は、長谷川家以外の文化財も収蔵すると考えているので、当時考えていた収蔵庫とはまったく別物だと考えている。

### コロナ禍対策、休業支援金・ 国保減免等の周知の改善約束

**問** テイクアウト支援商品券は飲食業界の取扱件数は約3割、さらなる支援が必要ではないか。

**答** さらなる支援策が必要であれば、その時点で考えていきたい。

**意見** 大変厳しい飲食業者に支援を。

**問** コロナ禍で休業し、休業手当をもらえなかった人が国に請求できる休業支援金について市ホームページでたどり着けない。

**答** 早急にトップページというかホームページのコロナ特集記事内に掲載する。

**問** 国保・介護の保険料の減免制度があるが申請された方は極めて少ない。ぜひ市民の皆さんに周知をしていただきたいが。

**答** 広報まつさか10月号への掲載や、12月号に差し込む収納課のチラシに周知枠を設けて周知を行う。

**問** 経済団体や企業に雇用を守ってもらう書面での申し入れが必要ではないか。

**答** 国・県のほうが書面的には行っているのでも口頭でお願いしていきたい。

**問** 生活保護の相談件数に比して申請は約3割、申請までに延々と時間がかかる。厚労省の事務連絡では「申請の意思が確認された方に対しては、速やかに保護申請を交付する」としており改善が必要ではないか。

**答** 困り事の内容をしっかりと聞き、必要な場合には生活保護の申請につなげる。

その他の質問  
・学校の体育館にエアコンを



# 令和3年2月定例会の開催日程

会期  
36日間

日	月	火	水	木	金	土
2月 7日	8	9	10 議会運営 委員会	11	12 予算説明会	13
14	15 予算説明会	16	17 本会議 (当初上程)	18	19	20
21	22	23	24	25 本会議 (代表質問) 議会運営委員会	26	27
28	3月1日 本会議 (代表質問)	2	3 本会議 (代表質問)	4	5 本会議 (代表質問) (補正上程)	6
7	8	9 本会議 (代表質問)	10 本会議 (議案質疑)	11 委員会 (環境福祉) (文教経済)	12 委員会 (総務企画) (建設水道)	13
14	15 委員会 (予備日)	16	17 委員会 (予備日)	18	19	20
21	22	23	24 本会議 (当初・補正議決)	25	26	27

※議場改修のため、本会議は5階大会議室で開催します。

## 新監査委員着任



10月10日から市議会選出の監査委員として、楠谷さゆり議員が着任しました。

## 編集後記

今号から一月早い発行となった「みてんか」第83号をお届けします。新型コロナウイルス禍により社会の様相が一変し、今後も新しい生活様式が求められています。「秋の議会報告会」も中止とさせていただきました。議員・議会活動の在り方を模索した一年となりましたが、今後とも市民の皆さんの視点にたった編集に努めてまいります。



本年も残りわずかとなりました、一年間「みてんか」をご覧いただきありがとうございました。

広報広聴委員長 松岡 恒雄

## 広報広聴委員と松阪工業高校 漫画研究部の皆さん



今月号の表紙は、松阪工業高校繊維デザイン科1年生 田部紗雪さんの「冬のおそび」。お母さんと一緒に子どもがソリに乗って、冬の遊びを楽しんでいる様子です。

